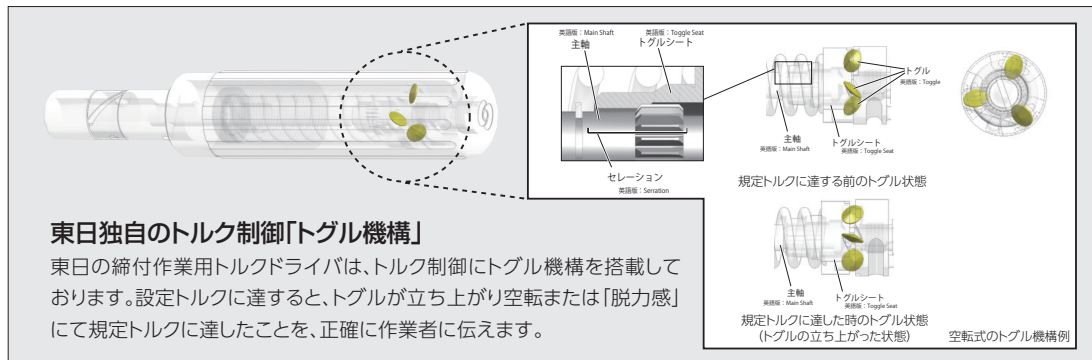


東日のトルクドライバの特長

①高精度

検査・測定用のデジタル式トルクドライバSTC2シリーズは精度±1%、RTDなどの締付作業用や直読式トルクドライバでは、精度±3%と、ISO6789を上回る精度です。(技術資料P.94参照) RTDシリーズやLTDシリーズなど締付作業用トルクドライバでは、東日独自のトルク制御「トグル機構」を搭載。高精度、高耐久性を実現しております。



②高耐久性

最大トルクの設定で10万回又は1年間の早い方で精度と耐久性を保証します。(技術資料P.92参照) なおシグナル式トルクドライバの場合では、10万回毎に校正・再調整・部品交換を行えば、100万回程度は使用可能です。

高耐久性を裏付ける耐久試験

開発段階の耐久試験はもちろん、新製品を製造する前には「型式認定試験」として耐久試験を実施。さらに量産時には定期的に抜取試験を行い、耐久性能を確認しています。



③容易なメンテナンスを実現

東日独自の「トグル機構」なら、ゲイン調整が可能。大掛かりな分解によるスプリングを交換しなくても調整可能なので、メンテナンス時間とコストや部品待ち時間の低減などが可能です。(技術資料P.99-100参照)

④転がりにくい「六角形のロック」

『コロコロと机の上から転がって落下したが精度が心配だ』とのお客様からのお問い合わせから考案。ロックは目盛のズレを防止する大事な部品です。このロックを転がり難い「六角形」に設計変更しました。その他、形状変更に伴い、ロックも修理も容易にできるように改良してあります。(技術資料P.110参照)



⑤豊富なシリーズ ラインナップ

微小トルク (0.1mN・m) から大トルク (16N・m) まで、東日のトルクドライバは幅広いトルク範囲の製品を揃えています。



MTDモデル
最低トルク0.1mN・m

FTDモデル
最大トルク16N・m

⑥校正機器も用意

校正にはTDT3シリーズ、日常点検にはLC3やATGE/BTGEシリーズを用意しています。



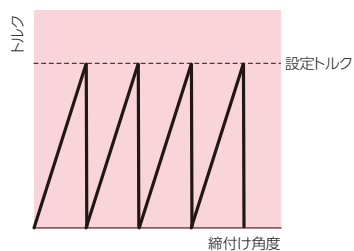
校正

日常点検

東日なら2つのタイプのトルクドライバで作業が最適に行えます。

—シグナル式トルクドライバの特長—

■空転タイプ

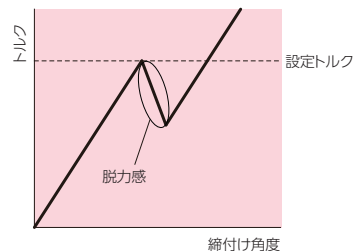


設定トルクに達すると空転します。さらに締め続けても空転します。設定トルク以上の締め付けをすることができないので、オーバートルクを完全に防ぐことができます。

空転タイプのトルクドライバの例



■クリックタイプ(非空転式)



設定トルクに達すると、一瞬トルクが低下して「脱力感」があります。さらに締めるとオーバートルクしますので、「脱力感」を感知したら速やかに除力して締め付けを完了します。東日の非空転式トルクドライバは世界でも類の無い製品で、締め上げ時の衝撃が少ない所から、精密機器等の締め付けに多くの実績があります。

クリックタイプのトルクドライバの例

